

～ 笑顔の絶えない生徒全員がハッピーになれる学校 ～

日新日日新



NO.2【5/18】
令和8年度
学校だより
桃山中学校
TEL:21-9141
文責:校長



【学校教育目標】ふるさとを愛し、夢の実現に向けて自ら学び続ける生徒の育成をめざして

「わっしょい！」～ 和を背負う心 ～

【校長 糸本 康浩】



若草薫るさわやかな天候のもと、多くの皆様に見守られる中、令和8年度運動会を盛大に開催できました。今年生徒が考えたスローガンは【一挑一進】。これは行事を通して一致団結し挑戦することを忘れず、さらに進歩する学校にしたい！という思いが込められていました。特に3年生は、学校の顔として限られた時間の中でリードし、成功に導きました。改めて「一生懸命はかっこいい！」「全力ですることは美しい！」を自然とできる本校の生徒に誇りを感じ行事を通して成長する姿をととても嬉しく思います。これも地域、保護者の皆様のご協力のおかげと教職員一同、感謝しております。最後までご声援頂き、誠にありがとうございました。

話は変わって、お祭りの季節になると、「わっしょい！」の元気なかけ声が町中に響き渡ります。この言葉は「和を背負う（わをしょい）」から来ているという説があります。「和」とは、人と人とのつながり、「背負う」とは、それを自分ごととして大切にすること。つまり、「わっしょい！」とは、「みんなで心をつなげて、前へ進もう」という呼びかけなのです。神輿（みこし）は重くて、一人では到底担げません。しかし、地域の皆さんで力と声をそろえて、「わっしょい！」と担ぐことで神輿は前へ前へと進むことができます。それはまさに、子どもたちの成長を見守り、支えていく私たち大人の姿と重なります。

学校という神輿は、我々教職員だけで担ぐことはできません。家庭、地域、そして子どもたち自身も担ぎ手の一員です。保護者、地域の皆様の温かい支えとご理解があつてこそ、子どもたちは安心して学び、育つことができます。学校では、子どもたちも仲間と支え合い、声をかけ合いながら日々の勉学に励んでいます。時には人間関係で悩んだり、不安に思うこともあるでしょう。しかしそれは生きている証でもあり、そんな中で、「自分は一人じゃない」「誰かと声を合わせて進めばきっと乗り越えられる」という「わっしょいの心」を、私たちは子どもたちに伝えていきたいと思っています。「子どもは地域の宝」であり、その宝を育てるのは私たち一人ひとりの小さな関わりの積み重ねです。あいさつ、行事での見守り、ちょっとした声かけ等、そのすべてが子どもたちの背中を後押しする「わっしょい！」の声になり、推進力になります。これからも、地域・家庭・学校が手を取り合い「わっしょい！」と力と声をそろえ、桃山っ子の希望ある神輿を前へ前へと担いでいくことができますよう、本校の教育活動にご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

5/11 宇部日報新聞より



仲間の声援受け、運動会で躍動



HPもどうぞご覧ください。生徒の学校生活の様子をアップします！

<https://www.ube-ygc.ed.jp/myj/>

